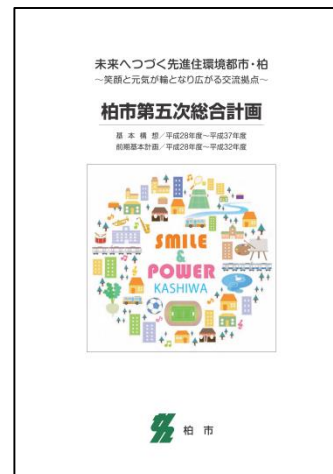


第五次総合計画の施策評価 （前期基本計画）



令和3年3月23日（火）

企画部 経営戦略課

1. 第五次総合計画について

- (1) 策定の背景・課題
- (2) 施策の方向性
- (3) 将来都市像・重点目標
- (4) 施策の体系
- (5) 計画期間

2. 施策評価について

- (1) 施策評価の目的
- (2) 施策評価の構成
- (3) 各シートの見方
- (4) 評価の視点
- (5) その他

1 第五次総合計画について

(1) 策定の背景・課題

◇生産年齢人口の減少

⇒ 税収（収入）の減少

⇒ 地域経済の縮小

◇高齢化（人・都市）の進展

⇒ 社会保障費（支出）の増大

◇公共施設・インフラの維持・更新費の増大

1 第五次総合計画について

(2) 施策の方向性

◇生産年齢人口の維持

⇒ 若い世代の移住・定住促進，転出抑制

◇社会保障費の抑制

⇒ 健康寿命の延伸

⇒ 長寿社会のまちづくり

◇交流人口の増加

⇒ 地域資源を活かしたまちづくり

1 第五次総合計画について

(3) 将来都市像・重点目標

将来都市像 未来へつづく先進住環境都市・柏
～笑顔と元気が輪となり広がる交流拠点～

重点目標

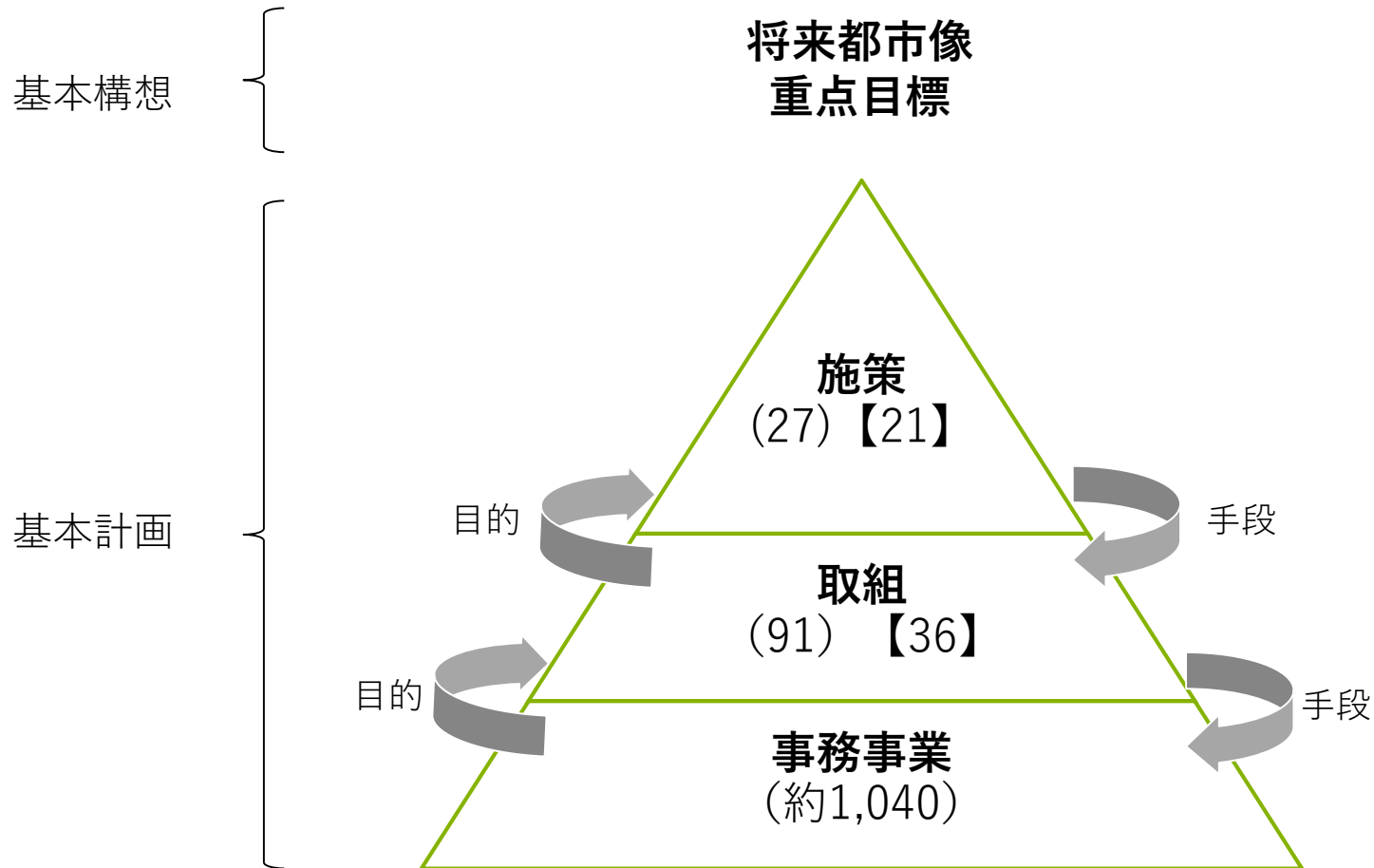
- 1 充実した教育が実感でき、子どもを安心して産み育てられるまち
- 2 健康寿命を延ばし、いつまでもいきいきと暮らせるまち
- 3 地域の魅力や特性を活かし、人が集う活力あふれるまち

施策体系の7つの分野

- 1 こども未来（学ぶ意欲と学ぶ習慣が身につく教育の推進，子どもの育ちや子育てを支える環境づくり）
- 2 健康・サポート（健康の保持・増進，高齢者等のニーズに応じた支援）
- 3 経済・活力（賑わいのあるまちづくり，魅力ある産業の創出）
- 4 地域のちから（コミュニティの活性化，文化・スポーツ等の推進）
- 5 環境・社会基盤（住環境の整備，社会基盤の形成・維持）
- 6 安全・安心（災害等に強い安全なまちづくり，犯罪等を防ぐ安心なまちづくり）
- 7 マネジメント（持続可能な行政経営，公共施設等の最適化）

1 第五次総合計画について

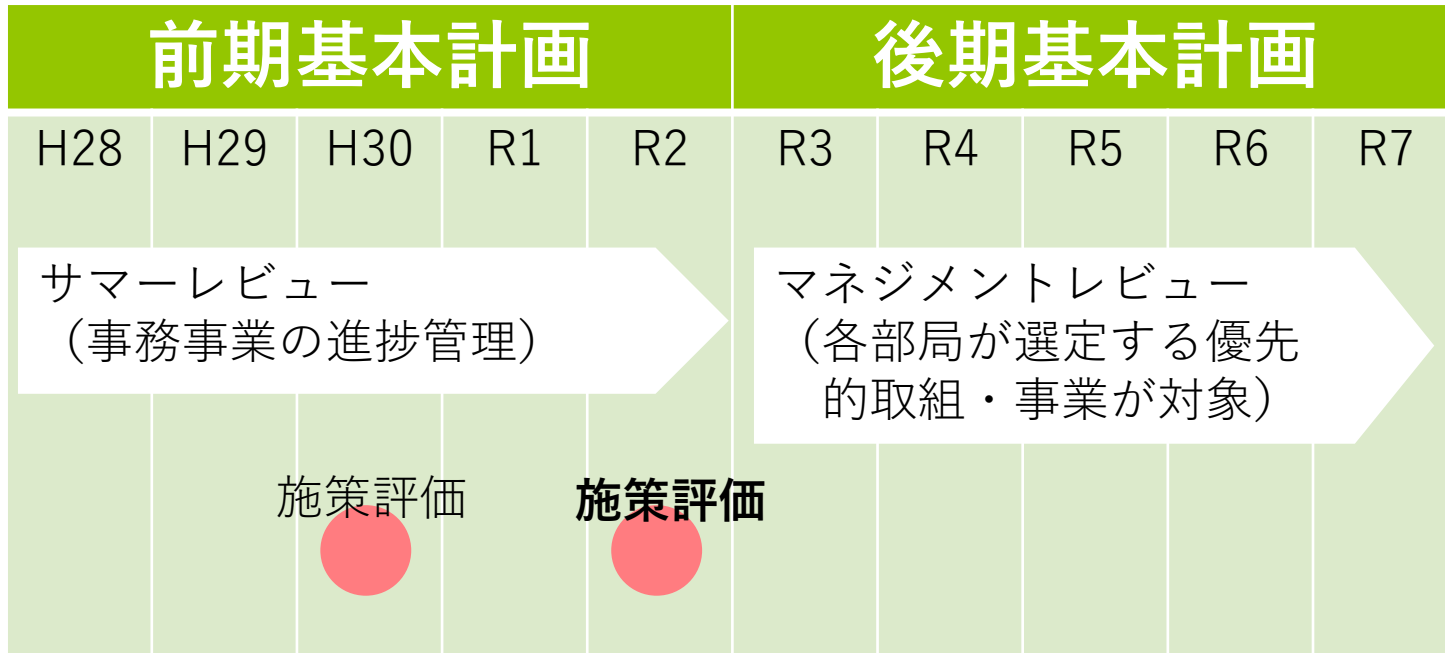
(4) 施策体系



※ 【】 は重点数

1 第五次総合計画について

(5) 計画期間



2 施策評価について

(1) 施策評価の目的

施策は比較的大きな概念であり、短期間では評価が困難である。

複数年の変化を把握し、その達成度を点検し、計画の進捗管理を行う。



第五次総合計画P148

第3章 計画の実効性の担保

4 進捗管理の体制

本市の持続可能性を確保し、総合計画の実効性を担保するため、次のような体制で計画の進捗管理（PDCAの実践による計画の適切な運用）を行います。

(1) 毎年の進捗管理（サマーレビュー）

本市は毎年、前年度の事務事業評価を行っており、事務事業の実施方法・内容等の改善を進めています。

総合計画における施策・取組・事業の体系とその優先順位については、この事務事業評価の結果を活用するとともに、基本構想の重点目標や上位の施策・取組の達成への貢献度等を毎年点検し、重点的に実施すべき事業等の見直しを行います。

なお、計画に掲載する事業については、施策や取組の内容を具体化するために基本計画に示すものと位置づけ、毎年の社会経済状況や、施策・取組への貢献度等に応じて、時点修正（※）を行い、予算等に反映させます。

（※）時点修正とは、施策や取組といった基本計画の施策の方向性を示す幹の部分の変更ではなく、幹である施策や取組をより効果的に推進するために実施する具体の事業を、機動的かつ柔軟に毎年見直しすることを指します。これに伴い、取組の指標についても、時点修正を行っていきます。

(2) 計画期間中の（中期的な）進捗管理（施策評価）

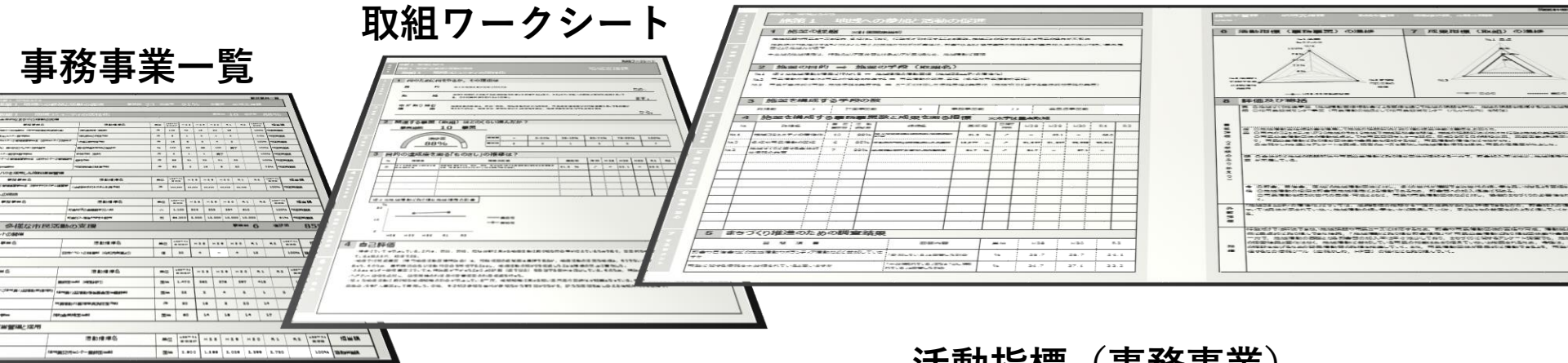
重点目標や施策は比較的大きな概念であり、その実現のためには一定の継続した取組が求められ、その背景にある課題等はわずかな時間で解決できるものは少ないと考えられます。

このため、複数年での継続的な努力によって明らかな変化を把握できるよう、5年の計画期間の中間年度（3年目）と最終年度（5年目）に、重点目標や施策の達成度等を点検し、計画の進捗管理を行います。中間年度の評価は前期基本計画期間の後半に向けた点検に、そして最終年度の評価は後期基本計画の策定に活用します。

2 施策評価について

(2) 施策評価の構成

施策評価シート



活動指標
(アウトプット)
やったこと

例
コミュニティ
施設を整備した

成果指標
(アウトカム)
得られた効果
成しえた成果

(取組1) 地域コミュニティ
が活性化した
[指標] 地域活動に取り組
む地域組織の割合

(取組2) 多様な市民活動の支援
[指標] 活動中の市民公益活動
団体の会員数

活動指標 (事務事業)
と成果指標 (取組) のまとめ
+目的・課題・自己評価・外部評価

(施策4-1) 地域への参加と活動の促進

2 施策評価について

(3) 各シートの見方：事務事業一覧

事務事業一覧

分野4 地域のちから										
施策1 地域への参加と活動の促進		事業数	23	進捗率	91%	主管課	地域支援課			
取組1 地域コミュニティの活性化		事業数	10	進捗率	88%					
1. 自主的なまちづくり活動の支援										
事務事業名	活動指標名	単位	H28~R1 目標値計	H28	H29	H30	R1	R2	H28~R1 進捗率	担当課
No.5 地域づくり推進事業（柏市地域活動支援補助金）	補助金申請・相談数	件	100	40	19	22	29		100%	地域支援課
		件	9	1	2	1	0		44%	地域支援課
		件	16	6	3	4	3		100%	地域支援課
-	（仮称）藤ヶ谷区コミュニティ施設整備	藤ヶ谷集会所新設の進捗率	%	100	33	66	100	完了	100%	地域支援課
-	近隣センター等施設整備事業	新設件数（開所）	件	2	1		完了		%	地域支援課
No.1	近隣センターの管理運営事業①（近隣センターの管理委託事業）	委託件数								
No.4	地域づくり推進事業	地域懇談会の開催件数	件	60	0	19	5	20	73%	地域支援課
2. 民間ノウハウを活用した施設運営管理										
事務事業名	活動指標名	単位	H28~R1 目標値	H28	H29	H30	R1	R2	H28~R1 進捗率	担当課
No.3	近隣センターの管理運営事業③（施設予約システム運営事業）	公共施設予約システム利用件数	件	332,000	83,662	83,536	83,958	80,205	100%	地域支援課

10

取組の進捗率

取組の事業数

各事業の平均

事業の名称

活動指標の名称

各年の進捗率

4年間の進捗率

2 施策評価について

(3) 各シートの見方：取組ワークシート

取組ワークシート

取組WS	分野4 地域のちから	地域支援課
	施策1 地域への参加と活動の促進	
	取組1 地域コミュニティの活性化	

1 こども未来	1 何のために何をやるか，その理由は																				
	<p>目的 様々な地域活動が活発に行われる</p> <p>取組 地域で積極的に活動する地域組織を側面から支援するとともに，コミュニティ活動への取組が困難な地域においても，自ら課題解決を図れるよう支援し</p> <p>市が取り組む理由 地域活動の衰退は，防災・防犯，福祉活動の弱体化を招き，市民生活環境並びに行政運営においても影響が考えられるため，地域自治・多様な主体による協働を進め，地域活動を活性化させる必要がある</p>	<p>ため、</p> <p>ます。</p> <p>から。</p>																			
2 健康・サポート	2 関連する事業（取組）はどのくらい進んだか？																				
	<p>事業総数 10 事業</p> <p>進捗率 88%</p>	<p>◀事務事業一覧の積み上げの数値（活動指標）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>進捗率</th> <th>-</th> <th>0-24%</th> <th>25-49%</th> <th>50-74%</th> <th>75-99%</th> <th>100%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table>	進捗率	-	0-24%	25-49%	50-74%	75-99%	100%	事業数	0	0	1	2	0	7					
進捗率	-	0-24%	25-49%	50-74%	75-99%	100%															
事業数	0	0	1	2	0	7															
3 経済・活力	3 目的の達成度を測る「ものさし」の推移は？																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>指標名</th> <th>指標の定義</th> <th>基準値</th> <th>方向</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	No.	指標名	指標の定義	基準値	方向	H28	H29	H30	R1	R2										
No.	指標名	指標の定義	基準値	方向	H28	H29	H30	R1	R2												

2 施策評価について

(3) 各シートの見方：取組ワークシート

活
力

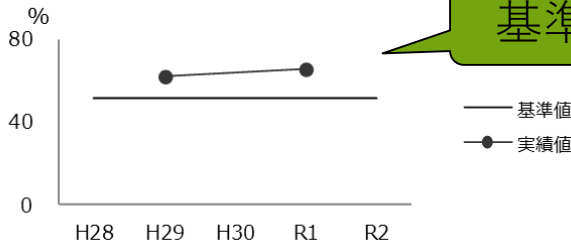
3 目的の達成度を測る「ものさし」の推移は？

No.	指標名	指標の定義	基準値	方向	H28	H29	H30	R1	R2
①	様々な地域活動に取り組む地域組織の割合	町会等の全体のうち、防災、防犯、福祉分野における地域活動に取り組む町会等の割合（町会等に対するアンケートにより活動内容を把握）	51.3 %	↗	-	62.1	-	65.6	

成果指標の名称

各年の数値

様々な地域活動に取り組む地域組織の割合



基準値に対する活動指標の経年変化の図

取組に対する自己評価

4
地
域
の
ち
か
ら

5
環
境
・
社
会
基
盤

6
安
全
・
安
心

4 自己評価

- ・指標については向上している。これは、防災、防犯、福祉分野における地域活動に取り組む町会等が増えているためであり、自主的な地域課題解決を図る意識が広がっていると捉えられ、評価できる。
- ・地域づくり推進事業（柏市地域活動支援補助金）は、相談件数の進捗率は良好であるが、地域活動の活発な地域と、そうでない地域の差が大きいという課題認識があった。そのため、事前説明会及び活動報告会を開催することとし、地域活動の拡がりを促進したことは指標の向上に貢献した。
- ・ふるさとセンター整備事業については、補助率が下がったことにより新築（建て替え）を希望する団体は減少している。そのため、補助メニューに中古住宅等取得、借上げ、バリアフリー改修を追加し、既存施設の利活用や中古住宅の利用促進を行った。
- ・様々な地域活動に取り組む地域組織の割合が向上している一方、地縁組織における担い手不足や高齢化が課題となっている。その解決策として「地域と若い世代との意見交換会」をモデル事業として実施した。今後、引き続き多様な世代が多様なかたちで繋がりながら、新たな発想を出し合える仕組み作りを目指す。

2 施策評価について

(3) 各シートの見方：施策評価シート

分野4 地域のみから

施策1 地域への参加と活動の促進

1 施策の課題 ※計画策定当初

地域課題や市民ニーズは増大・多様化しており、行政だけで対応することは困難。地域ごとの細かな対応には市民の協力が不可欠
 核家族化や多様化するライフスタイル等により地域のつながりが希薄化。町会やふるさと協議会等の地域組織の会員加入率の減少や担い手不足等により地域力が低下
 中広域の地域組織は、行政のエリア区分等と対象エリアが異なるため、地域活動に支援

2 施策の目的 ⇒ 施策の手段（取組名）

No.1 様々な地域活動が活発に行われる ⇒ 地域組織の活動支援（地域コミュニティの活性化）
 No.2 市民活動の活性化と市民との協働を推進する ⇒ 市民活動の啓発・支援（多様な市民活動の支援）
 No.3 市民が主体的に市政・地域情報を共有する ⇒ ニーズに対応した情報発信と共有化（地域づくりに資する主体的な情報の共有）

3 施策を構成する手段の数

取組数	3	計画事業数	9	事務事業数	23	最重点事業数	
-----	---	-------	---	-------	----	--------	--

4 施策を構成する事務事業数と成果を測る指標 ※太字は重点取組

No.	取組名	活動期間	活動進捗率	指標名	基準値	目指す方向	H28	H29	H30	R1	R2
No.1	地域コミュニティの活性化	10	88%	様々な地域活動に取り組む地域組織の割合	51.3%	↑	-	62.1	-	65.6	
No.2	多様な市民活動の支援	6	85%	活動中の市民活動団体の会員数	15,077人	↑	21,397	21,827	23,228	20,316	
No.3	地域づくりに資する主体的な情報の共有	7	99%	地域活動に関する市民加入率の満足度	34.7%	↑	34.7	-	37.1	-	

活動指標 (No.1, No.2, No.3)

成果指標 (No.1, No.2, No.3)

5 まちづくり推進のための調査結果

質問項目	回答内容	単位	H28	H30	R2
町会や自治会などの地域活動やボランティア活動等に参加している割合	「参加している」割合が割合	%	26.7	26.7	24.1
市政に関する情報を十分得られていると思いませんか	「十分得られている」割合が割合	%	34.7	37.1	33.2

市民アンケート

施策評価シート

施策主管課： 地域支援課 取組主管課： 協働推進課、広報広聴課
 関係課：

6 活動指標（事務事業）の進捗

7 成果指標（取組）の進捗

8 評価及び総括

実 ○地域づくり推進事業（地域活動支援補助金による支援を通じて地域の課題を解決、地域の課題を把握するため地域懇談会を開催）
 績 ○市民交流センター事業（市民活動の拠点として市民交流センター（パレット内）を開設）

自己評価（4年間のふりかえり）

成 ○地域活動支援補助金を活用して地域の課題解決に取り組む提案件数は目標を上回った。
 ○市内のコミュニティ/ア20地域のうち19地域で地域懇談会を開催。地域の課題解決に向けた行政と地域の共通理解が図られている。
 ○市民公益活動団体の活動拠点として市民交流センターを整備。平成28年5月の開設以来、来館者数と利用率ともに目標値を上回り、市民公益活動に取り組む団体数や会員数も増加するなど、市民活動の活性化につながった。
 ○広報かきわを通じたアンケートを実施。読者のニーズを反映した地域活動情報を提供。市民の満足度が向上した。

懸 ○主体的に地域の課題解決や市民公益活動に取り組む団体が増加する一方で、町会加入率が減少し、地域組織やまちづくりに関する担い手不足が懸念されている。

外部評価

「地域コミュニティの活性化」については、成果指標の進捗から一定の成果があったと評価できるものの、町会加入率の低下は、今後の取組については具体が示されていない。地域活動の担い手をいかに確保していくか、子どもたちの参画をどのように促していくか、具体的な取組が必要である。

総括

行政だけでは解決できない地域課題や市民ニーズに対応するため、町会や市民活動団体の支援や育成、活動拠点となる市民交流センターの整備に重点的に取り組んできた結果、「地域活動に取り組む町会組織」や「市民公益活動に取り組む団体数や会員数」は順調に増加してきている。一方で、地域活動の基盤となる町会等の加入率は年々減少しており、まちづくりに関するアンケート調査でも、地域活動等への参加割合は2年前の調査結果と変化はなく、地域活動に参加している市民の総数はあまり増えていないと指摘されている。今後は、特に地域活動に参加する市民の裾野を広げるための啓発活動等の取組を推進していく。また、市民活動団体が自発的に活動できるよう、市政情報や地域情報をわかりやすく発信するための情報ツール（広報かきわ、HP等）の強化に取り組んでいく。

総括

2 施策評価について

(4) 評価の視点：自己評価（内部視点）

各担当課において、平成28年度から令和元年度までの4年間における、**実績・成果・懸念・今後**の4つの視点で自己評価を実施

- 実績：重点的に取り組んだ事業
- 成果：成果を達成した，目的に近づいた内容
- 懸念：実施してきた施策・取組における課題や懸念事項
- 今後：実績・成果・懸念を踏まえ，今後実施すべきことや方向性

2 施策評価について

(4) 評価の視点：外部評価（委員視点）

市民目線あるいは専門的視点から、

「行政による**点検の妥当性**」について点検

- 指標の達成状況について適切に分析しているか
- 社会経済情勢を踏まえた方向性を示しているか
- 市民にとって理解しやすいか

(5) その他

- 行政評価の今後に対する意見